

禁煙科学 最近のエビデンス 2017/07

さいたま市立病院 館野博喜

Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われるものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、併記の原著等をご参照ください。

2017/07 目次

- KKE209 「日本の電子タバコ使用者の約3割は禁煙の飲食店や職場でも使用している」：日本からの報告
- KKE210 「出生後でなく胎内での喫煙曝露が子のアトピー性皮膚炎リスクを増やす」：日本からの報告
- KKE211 「ニコチン補充剤の併用療法指針：開始の仕方と減量の仕方」
- KKE212 「日本人の喫煙による2型糖尿病発症リスクに関する系統的レビューとメタ解析」

KKE209

「日本の電子タバコ使用者の約3割は禁煙の飲食店や職場でも使用している」：日本からの報告

Kiyohara K等、Tob Control. 2017 Jun 10. (Epub ahead) PMID: 28601841

- 禁煙政策の本来の目的は非喫煙者を受動喫煙から守ることだが、同時に、喫煙という行為を当たり前でなくすることにも役立っている。
- 電子タバコが禁煙場所で使用されると、これが逆戻りしていく懸念がある。
- WHOは禁煙の屋内での電子タバコの使用を法的に禁止するよう勧奨している。
- 日本では数種類の電子タバコが販売されている。
- ニコチン溶液を含有した電子タバコの販売は2010年薬事法のもと禁止されており、その使用は個人輸入に限られる。
- ニコチン非含有電子タバコに規制はなく、未成年者にも販売されている。
- 2つの非液体電子タバコも流通している：
 - JT社のPloom（2013年12月販売開始）とPM社のiQOS（2014年11月販売開始）である。
 - これらはタバコ葉を加熱するもので、たばこ事業法によりタバコ製品として規制されている。
- 2015年のネット調査では、日本人の6.6%が何らかの電子タバコを使用したことがあり、1.3%は過去30日以内に使用していた。
- 現在日本では公共の場における電子タバコの公式な使用規制はなく、唯一、JR北海道が車内や駅舎の禁煙区域で規制しているのみである。
- 今回、日本の飲食店と職場における禁煙区域での電子タバコ使用について調査した。
- 2015年1月31日から2月9日にかけて、ネット調査を行った。
- 参加者は楽天リサーチ登録者から募った。
- 2013年と2014年の同リサーチで電子タバコの使用歴のある成人32,179人（年齢20-69歳）から、現使用者800人と過去使用者800人を無作為に選び、回答者が人数に達したところで締め切った。

- 電子タバコには、ニコチン含有電子タバコ、ニコチン非含有電子タバコ、Ploom、iQOSを含めた。
- 「どのくらいの頻度で、禁煙の場所で電子タバコを使用しますか（しましたか）？」を質問し、飲食店にはレストランのほか、喫茶店、居酒屋、バー、を含めた。
- 使用状況と背景因子の関連を多変数ロジスティック回帰で解析した。
- 現使用者801人と過去使用者800人のうち、今回の調査でも電子タバコ使用歴が確認できた1,243人（現使用662人、過去使用581人）を解析した。
- 男性が82.1%と多数で、平均年齢は47.0歳（SD10.4）であった。
- 禁煙の飲食店で電子タバコを使用したことがある人は28.8%（358人/1,243人）、頻回に使用していた人は18.5%（230人/1,243人）であった。
- 禁煙の職場ではそれぞれ、25.5%と16.3%であった。
- 禁煙の飲食店と職場の両方で使用したことがある人は17.5%、両方で頻回に使用していた人は8.5%であった。
- 禁煙場所で電子タバコを使用する人は、男性と大卒以上の人に多かった。
- 電子タバコは日本の禁煙場所でも使用されている。

<選者コメント>

日本における禁煙場所での電子タバコ使用状況の初調査です。

飲食店では約29%の利用者が、職場では約26%の利用者が、禁煙区域でも使用していました。日本で電子タバコと呼ばれているものには大きく分けて3種類あり、

- 1) ニコチン含有電子タバコ：日本では販売禁で個人輸入のみ
- 2) ニコチン非含有電子タバコ：家電量販店などでだれにでも販売
- 3) 加熱式タバコ：タバコ製品として販売されており未成年は使用禁

となっていますが、今回の研究では使用された種類についての詳細は不明です。

現今問題になっているiQOSなどの3)については、販売しているタバコ会社自体が、禁煙の場所では吸わないように指示しているにも関わらず、自治体によっては判断がぐらついているところもあり心配です。販売側が、“受動喫煙による健康被害は何年たっても生じない”ことを証明しない限り、タバコ製品として同列に規制がなされるべきと思います。

<その他の最近の報告>

KKE209a 「バレニクリンは心血管イベントや交通事故を増やさない：スウェーデンの症例クロスオーバー研究」

Monarrez-Espino J等、Nicotine Tob Res. 2017 Jun 8. (Epub ahead) PMID: 28595356

KKE209b 「神経精神的事象に関するFDAの黒枠警告後バレニクリンの処方率は22%から9%に著減した」

Shah D等、Drug Alcohol Depend. 2017 May 18;177:187-193. (Epub ahead) PMID: 28605678

KKE209c 「社会的弱者に対する非薬物的禁煙介入の系統的質的レビュー」

Wilson A等、Expert Rev Respir Med. 2017 Jun 21:1-14. (Epub ahead) PMID: 28608758

KKE209d 「喫煙者は再雇用される割合が低く賃金も低い：1年間の観察研究」

Prochaska JJ等、JAMA Intern Med. 2016 May 1;176(5):662-70. PMID: 27065044

KKE209e 「小学生への受動喫煙防止のための家庭介入研究のレビュー」

Brown N等、Prev Med. 2017 Jun 7;101:117-125. (Epub ahead) PMID: 28601619

KKE209f 「米国HIV保有者の喫煙率は男女で差がない：系統的レビュー」

Weinberger AH等、J Acquir Immune Defic Syndr. 2017 Apr 1;74(4):439-453. PMID: 28002182

KKE209g 「精神疾患喫煙者の衝動性と誘因感受性に関する文献レビュー」

- Keyser-Marcus L等、Am J Drug Alcohol Abuse. 2017 Jul;43(4):432-441. PMID: 28590844
 KKE209h 「禁煙すると健診のメタボーターが悪くなる」：日本からの報告
- Takayama S等、J Atheroscler Thromb. 2017 Jun 8. (Epub ahead) PMID: 28592705
 KKE209i 「国際家庭医学呼吸器グループによる禁煙治療指針改訂版」
- Van Schayck OCP等、NPJ Prim Care Respir Med. 2017 Jun 9;27(1):38. PMID: 28600490
 KKE209j 「退院後の自動音声による電話フォローアップは禁煙率を高める」
- Rigotti NA等、J Gen Intern Med. 2017 Jun 14. (Epub ahead) PMID: 28616847
 KKE209k 「電子タバコの1年間使用者の継続理由と再喫煙の追跡調査」
- Etter JF等、Nicotine Tob Res. 2017 Jun 7. (Epub ahead) PMID: 28591788
 KKE209l 「結婚、第1子出産、離婚の前後の喫煙・禁煙行動の変化」
- Bricard D等、Int J Environ Res Public Health. 2017 Jun 7;14(6). PMID: 28590412
 KKE209m 「FCTC批准国の14条禁煙治療の遂行状況」
- Nilan K等、Addiction. 2017 Jun 10. (Epub ahead) PMID: 28600886
 KKE209n 「タバコ規制オンライン・ネットワークの時代的変遷」
- Wipfli H等、Glob Health Gov. 2016 Fall;10(2):138-150. PMID: 28596813
 KKE209o 「カナダにおける禁煙治療保険適応案に関する企業・保険会社・国へのインタビュー」
- Schwartz R等、Healthc Policy. 2017 May;12(4):56-68. PMID: 28617238
 KKE209p 「喫煙は悪性リンパ腫発症を用量依存性に高める：症例対照研究」
- Taborelli M等、BMC Cancer. 2017 Jun 16;17(1):421. PMID: 28622762
 KKE209q 「喫煙者は加齢による大脳の容量減少が喫煙量と相関して加速する」
- Durazzo TC等、Drug Alcohol Depend. 2017 Jun 7;177:228-236. (Epub ahead) PMID: 28622625
 KKE209r 「アルコール飲料風味のタバコ製品の広がり」
- Jackler RK等、Tob Control. 2017 Jun 7. (Epub ahead) PMID: 28592404
 KKE209s 「タバコ産業が米国の喫煙年齢引き下げに関わってきた歴史」
- Apollonio DE等、Am J Public Health. 2016 Jul;106(7):1200-7. PMID: 27196658

KKE210

「出生後でなく胎内での喫煙曝露が子のアトピー性皮膚炎リスクを増やす」

：日本からの報告

Tanaka K等、Nicotine Tob Res. 2017 Jul 1;19(7):804-809. PMID: 27794037

- 小児のアトピー性皮膚炎と受動喫煙の関連を調べた研究は複数あるが、結果は不定である。
- 妊娠中の喫煙、出生後の受動喫煙、あるいはその両者が、子のアトピー性皮膚炎発症におよぼす影響については知られていない。
- 今回、九州・沖縄母子保健研究の追跡研究から、これらの影響について解析した。
- 同研究の2007年4月から2008年3月に登録された妊婦を対象とした。
- 423の産科病院でチラシを配り、1,757人の妊婦が同意の上調査に参加した。
- 妊娠5週から39週の妊婦で、出産時1,590人、産後4か月時1,527人、12か月時1,430人、24か月時1,362人が追跡され、アンケートに回答し返送した。

- 抜けているデータは研究助手が電話をかけて確認し、最終的に1,354組の母子を解析した。
- 出生後の受動喫煙の有無は、喫煙者1人以上と子が同居していることで判断した。
- アトピー性皮膚炎は、生後24か月目のアンケートで、ISAAC（喘息とアレルギー疾患の国際共同疫学調査）基準にもとづく質問を行い、過去1年間にアトピー性皮膚炎の症状があったかどうかで判断した。
- また医師からの診断を受けた場合は、アトピー性皮膚炎ありとした。
- 関連解析は多変量ロジスティック回帰にて行い、交絡因子としては、居住地、子供の数、両親の教育レベル、年収、両親の喘息・アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎の既往、出生時体重、子の性別、母乳栄養の期間、を用いた。
- 生後23-29か月時に1,354人中229人（16.9%）がISAACによるアトピー性皮膚炎、62人（4.6%）が医師の診断によるアトピー性皮膚炎に分類された。
- 8%の子に胎内受動喫煙があり、44%に生後の受動喫煙があった。
- 全体では、胎内および生後の喫煙曝露とアトピー性皮膚炎との間に関連は見られなかった。
- 胎内および生後の喫煙曝露の有無により、4群に分けて解析すると以下であった（補正オッズ比(95%CI)、*：統計学的有意）。

	ISAACの基準	医師の診断
＜喫煙曝露＞		
なし	1.00（基準）	1.00（基準）
（総数732人）	（診断数118人）	（診断数36人）
胎内でのみあり	1.89 (0.59-5.21)	7.11*(1.43-27.8)
（総数21人）	（診断数5人）	（診断数3人）
生後のみあり	1.10 (0.80-1.51)	0.95 (0.53-1.68)
（総数511人）	（診断数90人）	（診断数22人）
胎内+生後あり	1.22 (0.64-2.18)	0.32 (0.02-1.61)
（総数90人）	（診断数16人）	（診断数1人）

→妊婦の喫煙は子のアトピー性皮膚炎を増やす可能性がある。

＜選者コメント＞

出生前後の喫煙曝露とアトピー性皮膚炎発症に関する愛媛大学からの報告です。

https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/11/161114_2.pdf

お問合せを頂きましたので、ご報告させていただきます（=KKE190c）。

妊娠中から生後2歳までの追跡調査で、母体の喫煙、生後の家人からの受動喫煙と、2歳時のアトピー性皮膚炎の有無との関連が調べられました。全体としては有意な関連は見られませんでした。医師の診断によるアトピー性皮膚炎は、母親の妊娠中の喫煙があると有意に増えていました。生後の受動喫煙や、ISAACの基準によるアトピー性皮膚炎には関連はありませんでした。

今回唯一有意差の見られた、胎内でのみ受動喫煙があり出生後は受動喫煙がない、という例は限られており（21人/1,354人=1.5%）、95%信頼区間も幅広く、有意差の信頼性は高くないかもしれません。KKE204fでは、妊娠中ではなく環境タバコ煙曝露が関連するとのメタ解析もあり、今後のさらなる研究が待たれます。

＜その他の最近の報告＞

KKE210a「父親が喫煙者の乳幼児の家族への禁煙カウンセリングは有効：無作為化比較試験」

Chan SS等、J Pediatr. 2017 Mar;182:260-266.e4. PMID: 27989407

- KKE210b 「未成年者における依存性薬物としてのニコチンとタバコに関するレビュー」
Siqueira LM等、Pediatrics. 2017 Jan;139(1). PMID: 27994114
- KKE210c 「家庭以外での受動喫煙により動脈解離や動脈瘤での死亡が増える：日本の5万人コホート」
Kihara T等、Atherosclerosis. 2017 Jun 9;263:145-150. (Epub ahead) PMID: 28645070
- KKE210d 「術前に禁煙を促す効果的な支援法は？：系統的レビューとメタ解析」
Prestwich A等、Front Psychol. 2017 Jun 7;8:915. PMID: 28638356
- KKE210e 「禁煙開始日を早めに設定する人ほど禁煙率が高い」
Anesi GL等、J Behav Med. 2017 Jun 21. (Epub ahead) PMID: 28639106
- KKE210f 「急性冠症候群の入院患者への5A+5R個別集中禁煙支援は効果的：無作為化比較試験」
Luo JG等、Nicotine Tob Res. 2017 Jun 20. (Epub ahead) PMID: 28637193
- KKE210g 「超低ニコチンタバコは離脱症状による行動・認知低下を改善するか：文献レビュー」
Keith DR等、Prev Med. 2017 Jun 21. (Epub ahead) PMID: 28647546
- KKE210h 「気分障害より不安障害の方が禁煙が難しく、気分障害ではNRTよりバレニクリンが有効（後方視的解析）」
Okoli CTC等、J Psychiatr Ment Health Nurs. 2017 Jun 21. (Epub ahead) PMID: 28635015
- KKE210i 「禁煙離脱症状はニコチンが含有された電子タバコを使用すると和らぐ：ニコチン含有の有無での比較実験」
Perkins KA等、Exp Clin Psychopharmacol. 2017 Jun 26. (Epub ahead) PMID: 28650184
- KKE210j 「がん診断後の禁煙治療の成否は癌の部位や癌治療によらない」
Carroll AJ等、Psychooncology. 2017 Jun 21. (Epub ahead) PMID: 28636795
- KKE210k 「オランダのネット禁煙介入に関する実態調査；効果の開示が不十分」
Cheung KL等、J Med Internet Res. 2017 Jun 23;19(6):e230. PMID: 28645889
- KKE210l 「医師がCOPD患者の禁煙治療に消極的な理由に関する質的研究」
van Eerd EAM等、NPJ Prim Care Respir Med. 2017 Jun 23;27(1):41. PMID: 28646217
- KKE210m 「COPD患者の禁煙成否に影響する要因：RCTの結果からの短報」
van Eerd EAM等、Eur Respir J. 2017 Jun 22;49(6). PMID: 28642316
- KKE210n 「タバコ産業がタバコ税増税効果を弱めるために行っていること」
Ross H等、Prev Med. 2017 Jun 15. (Epub ahead) PMID: 28625418
- KKE210o 「イタリアにおける禁煙目的での電子タバコ使用状況」
Gorini G等、Prev Med. 2017 Jun 23;102:1-5. (Epub ahead) PMID: 28652088
- KKE210p 「喫煙と内臓知覚、不安との関連」
Zvolensky MJ等、Addict Behav. 2017 Jun 20;75:1-6. (Epub ahead) PMID: 28654824
- KKE210q 「妊婦の喫煙と子のADHDに因果関係はなさそう」
Gustavson K等、Pediatrics. 2017 Feb;139(2). PMID: 28138005
- KKE210r 「害低減タバコ製品が市場投入された場合の健康改善予測」：PM社
Lee PN等、Regul Toxicol Pharmacol. 2017 Jun 23. (Epub ahead) PMID: 28651854

「ニコチン補充製剤の併用療法指針：開始の仕方と減量の仕方」

Hsia SL等、Prev Med. 2017 Apr;97:45-49. PMID: 28257667

- ニコチン補充製剤NRTを組み合わせると、単剤よりも効果が高いとされている。
- そのようなガイドラインが発行され、併用NRT療法を受ける患者が増えているが、開始用量や減量法に関する指針は少ない。
- 併用NRT療法は、パッチなどの長時間型NRTと、トローチなどの短時間型NRTを組み合わせ、前者が一定のニコチン量を提供して離脱症状を減らし、後者が突発的な喫煙欲求を和らげたり感覚刺激を与えることでスリップを防止する。
- NRTからのニコチン吸収はタバコよりゆっくりであるため、依存を作りにくい。
- メタ解析等により、副作用は併用でも単剤と変わらないことが示されている。
- 今回、併用NRT療法の開始用量や減量法についてレビューし、推奨を提示する。
- 無作為化比較試験で用いられている併用NRTの用量は、試験ごとに異なっている。
- これら単剤対併用のエビデンスや、米国禁煙臨床資源センターで開発された戦略を元に、推奨する開始用量と減量法を提示する。
- タバコ依存は再発しやすいため、他の慢性疾患と同様に対処され、長期間フォローアップされるべきである。
- 薬物療法は行動療法と一緒に提供されるべきである。
- 他の慢性疾患同様、行動的介入は反復して長期に行う必要がある。
- 短時間型NRTには、ガム、トローチ、点鼻スプレー、経口吸入薬、がある。
- 点鼻スプレーは最も吸収と消失が速く、ニコチン血中濃度もピークが高くトラフが低い。
- 喫煙欲求の解消効果は速やかだが、ニコチン依存を維持させる。
- 経口吸入薬には、手を使って口で吸うという感覚刺激があり、喫煙誘発刺激による喫煙欲求を緩和する利点がある。
- しかし使用当初は利点でも、喫煙行為を維持させてしまう。
- そのため、点鼻スプレーや経口吸入薬は、第一選択薬としては推奨し難い。
- ガムやトローチで失敗した人、歯や胃腸の問題でこれらが使えない人、などに良いだろう。
- また副作用や値段の違いもあり、個人の好みも考慮されるべきである。
- 電子タバコについては禁煙効果は不明であり、現時点では推奨しない。
- NRTの開始用量は喫煙重度指数HSIによるニコチン依存度で判定する。

HSI (Heaviness of Smoking Index)

- ・起床後どのくらいで1本目を吸いますか？
 - <5分：3点、5-30分：2点、31-60分：1点、>60分：0点
- ・1日喫煙本数
 - >30本：3点、21-30本：2点、11-20本：1点、10本以下：0点
- <ニコチン依存度判定>
 - 0点：依存なし、1-2点：低依存、3-4点：中依存、5-6点：高依存

→理論的には21mg/日パッチ（ニコチネルTTS30相当）による血中ニコチン濃度は、30本/日の重喫煙後より低いが、42mg/日パッチでの結果は一定せず、また高血圧患者（血圧>140/90など）を除外しているなど安全面の問

題もある。

→そのため、HSIで低依存の患者には14mg/日パッチ（ニコチネルTTS20相当）で開始し、中から高依存の患者にはTTS30相当で開始することを推奨する。

→一般に、ほとんどの患者は2mgのトローチ/ガム（ニコレット1個相当）で開始できるが、依存の高い人には4mgで開始することも考慮されて良い。

→短時間型NRTは6-10mg/日で開始し減量していく。

→禁煙開始日にパッチと短時間型NRTを開始する。

→短時間型NRTは必要時に使用するが、最初の1週間は定期的に使用しても良い（1日6個以上を決められた間隔で、など）。

→NRTは一般に2-4か月かけて減量するが、より長期間を要する患者もいる。

→添付文書より長くなるが、効果と安全性を示すエビデンスがある。

→離脱症状が減ってきたら、行動療法を行いつつ短時間型NRTの使用頻度を減らす。

→例えばニコチンガムをノンシュガーのガムに替えていく。

→ニコチンガムが1日1-2個になり、出来そうであれば、パッチを1段階減量する。

→この際一時的に喫煙欲求が高まる場合には、ニコチンガムを一時的に増やす。

→行動療法を併用し、短時間型NRTの使用は最小限に務める。

→このようにして減量を続け、最終的に短時間型NRTのみになったら、NRTを終了していく。

→減量にかかる期間は個人に合わせる。

→長時間型NRTと短時間型NRTの併用は有用である。

<選者コメント>

米国の退役軍人局サンディエゴ医療システムVASDHSから、ニコチンパッチとニコチンガム等の併用法に関する推奨です（=KKE200c）。

本邦では併用は添付文書上認められていませんが、海外では推奨されています。今回の指針では、禁煙当初から両者を併用し、先にまずガムを減らしていく。ガムが減ってきたらパッチを減らし、最終的にはガムだけにし、終了する。パッチの開始用量はHSIで決定する、パッチの使用期間は2-4か月かける、といった内容が提示されています。

併用療法の具体的な指針はあまりなく、とくに依存が強い場合に参考になると思われます。

個人的には、パッチ量をHSIで判定する、依存度が高い人はガムを一度に2個噛む、などの指摘が興味深く感じられました。また禁煙支援には長期のフォローアップが必要との指摘も、いつもながらもっともと思われました。

<その他の最近の報告>

KKE211a 「重症精神疾患患者への禁煙介入効果に関する系統的レビューとメタ解析」

Peckham E等、BMC Psychiatry. 2017 Jul 14;17(1):252. PMID: 28705244

KKE211b 「メンソールタバコの販売禁止による健康改善影響のレビュー」

Lester JM等、J Law Med Ethics. 2017 Mar;45(1_suppl):41-44. PMID: 28661301

KKE211c 「産前産後の禁煙の障碍と促進因子に関する文献レビューと質的研究」

Bauld L等、Health Technol Assess. 2017 Jun;21(36):1-158. PMID: 28661375

KKE211d 「ニトロソアミンの乳癌発症に関するミニレビュー」

Gankhuyag N等、J Mammary Gland Biol Neoplasia. 2017 Jun 29. (Epub ahead) PMID: 28664511

- KKE211e 「電子タバコ成分による疾患発症機序に関するレビュー」
Cai H等、Redox Biol. 2017 May 25;13:402-406. (Epub ahead) PMID: 28667909
- KKE211f 「癌治療者による禁煙支援に関する文献レビュー」
Conlon K等、Radiography (Lond). 2017 Aug;23(3):256-263. PMID: 28687295
- KKE211g 「幹細胞治療への喫煙・ニコチンの有害作用に関するレビュー」
Greenberg JM等、Stem Cells Transl Med. 2017 Jul 11. (Epub ahead) PMID: 28696009
- KKE211h 「ナルトレキソン併用禁煙薬物治療の体重抑制効果に関する文献レビュー」
Rees R等、J Pharm Policy Pract. 2017 Jul 11;10:20. PMID: 28702203
- KKE211i 「妊婦の喫煙は子の自閉症スペクトラム障害と関連する：メタ解析」
Jung Y等、Sci Rep. 2017 Jun 28;7(1):4315. PMID: 28659613
- KKE211j 「現喫煙者は労働生産性が低いが禁煙者は非喫煙者と同等：日本人2万人の解析」：日本からの報告
Suwa K等、J Med Econ. 2017 Jul 7:1-12. (Epub ahead) PMID: 28685629
- KKE211k 「徐放性Lシステイン・トローチは禁煙率を上げる：無作為化比較試験」
Syrjanen K等、Anticancer Res. 2017 Jul;37(7):3639-3648. PMID: 28668855
- KKE211l 「慢性鼻副鼻腔炎は禁煙後時間とともに改善する」
Phillips KM等、Otolaryngol Head Neck Surg. 2017 Jun 1:194599817717960. (Epub ahead) PMID: 28699423
- KKE211m 「患者との禁煙対話の良い例悪い例」
Iversen C等、Sociol Health Illn. 2017 Jul 6. (Epub ahead) PMID: 28681921
- KKE211n 「禁煙初期3日間は運動が離脱症状解消に有効」
Conklin CA等、Exp Clin Psychopharmacol. 2017 Jul 6. (Epub ahead) PMID: 28682103
- KKE211o 「禁煙開始日を1週間以降にする人は成功率が低い」
Zawertailo L等、Psychol Addict Behav. 2017 Jul 13. (Epub ahead) PMID: 28703612
- KKE211p 「妊婦の受動喫煙は用量依存性うつ症状と関連する」
Huang J等、Psychiatry Res. 2017 Jun 29;256:469-474. (Epub ahead) PMID: 28711818
- KKE211q 「生後6か月間に受動喫煙を受けた子は3歳時に近視が多い」
Chua SY等、Ophthalmic Physiol Opt. 2016 Jul;36(4):370-80. PMID: 27061286
- KKE211r 「バレニクリン投与下では看護師の重点的支援とかかりつけ医の簡易支援の効果に差なし」
van Rossem C等、Addiction. 2017 Jul 1. (Epub ahead) PMID: 28667826
- KKE211s 「受動喫煙は女兒の第二次性徴発現を早める」
Windham GC等、Epidemiology. 2017 Jun 28. (Epub ahead) PMID: 28661938
- KKE211t 「8割の米国人が運動などで喫煙の健康リスクを軽減できると考えている」
Kaufman AR等、Prev Med. 2017 Jun 26;102:39-43. (Epub ahead) PMID: 28658608
- KKE211u 「初の禁煙ゲームアプリ”Cigbreak Free” (英国)」
Nurs Stand. 2017 Jun 28;31(44):33. PMID: 28656841
- KKE211v 「日本人喫煙者80人に5日間iQOSへの変更実験をすると毒性が低下した」：PM社
Haziza C等、Regul Toxicol Pharmacol. 2016 Nov;81:489-499. PMID: 27693654
- KKE211w 「ニコチンのパーキンソン病予防効果に関するレビュー」
Ma C等、Transl Neurodegener. 2017 Jul 2;6:18. PMID: 28680589
- KKE211x 「タバコ産業の製薬会社化」
Hendlin YH等、Ann Intern Med. 2017 Jul 18. (Epub ahead) PMID: 28715843

「日本人の喫煙による2型糖尿病発症リスクに関する系統的レビューとメタ解析」

Akter S等、J Epidemiol. 2017 Jul 14. (Epub ahead) PMID: 28716381

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0917504017301399>

- 米国公衆衛生総監報告によれば、喫煙者は非喫煙者に比し、2型糖尿病のリスクが40%増えると報告している。
- これは46報の前向き研究の解析に基づいており、喫煙は糖尿病の原因であると結論づけている。
- パンらは糖尿病男性の11.7%、女性の2.4%は喫煙が原因と推計しているが、国によっても異なるであろう。
- 日本で糖尿病は着実に増えており、2030年までにはさらに10%増えると予想されている。
- 西洋人と異なり肥満症は多くなく、タバコ規制がより重要であろう。
- 今回、日本における喫煙と2型糖尿病リスクの関連と、人口寄与割合を解析した。
- 喫煙と糖尿病との関連について2015年12月までに報告された文献を、MEDLINEや医中誌から系統的に検索した。
- 日本人を対象とした前向きコホートのみを解析した。
- 糖尿病の診断基準は変化しているが、自己申告の1報を除き血液検査に基づき診断していた。
- 各報告の質の高低は、ニューキャッスル・オタワ・スケールNOSで評価した。
- 禁煙が糖尿病リスクにおよぼす影響は3件報告されていた。
- 22報（19コホート）がメタ解析の対象となった。
- 343,573人が調査され、16,383人の糖尿病患者が確認された。
- 報告は1997年から2015年に出されていた。
- 平均観察期間は4-16年で、すべてNOS6点以上で質の高い研究であった。
- 現喫煙者の糖尿病リスクは非喫煙者より有意に高く、プール解析の相対危険度RRは、1.38（95%CI=1.28-1.49）であった。
- これは男性1.40（1.27-1.55）、女性1.42（1.19-1.69）ともほぼ同じであった。
- 過去喫煙者の糖尿病リスクも、RR1.19（1.09-1.31）と非喫煙者より有意に高く、男性1.20（1.06-1.35）、女性1.18（0.72-1.92）と性差はなかった。
- 喫煙量と糖尿病の関連をみた12の研究から用量反応関係を解析すると、線形関係が認められ、1日喫煙本数が10本増えると糖尿病リスクが16%増えた。
- 禁煙効果をみた3つの研究からは、プール解析のRRは下記であった。

プールRR 95%CI

現喫煙	1.60	1.16-2.21
禁煙5年以内	1.45	1.26-1.66
禁煙9年以内	1.16	1.00-1.36
禁煙10年以上	1.00	0.88-1.13

- 日本成人の喫煙率20.7%（男性34.1%、女性9.0%）を用いて人口寄与割合を求めると、7.3%（5.5-9.2）、男性12.0%（8.4-15.8）、女性3.6%（1.7-5.8）であった。
- 過去喫煙率22.2%（男性36.2%、女性10.0%）を用いて人口寄与割合を求めると、4.1%（2.0-6.4）、男性6.8%

(2.1-12.1)、女性1.8% (-2.9-8.4)であった。

→受動喫煙と糖尿病リスクの関連をみた研究が1件あり、リスクは増加したが有意ではなかったRR1.20 (0.54-2.68)。

→喫煙は用量依存性に日本人の2型糖尿病リスクを高め、禁煙は減らす。

<選者コメント>

日本人における喫煙と2型糖尿病発症リスクに関する初めてのメタ解析の報告です。

2015年までに報告された前向きコホート19件(計34万人)が解析されました。現喫煙者は非喫煙者より38%糖尿病になりやすく、過去喫煙者では19%で、いずれも男女での差はほとんどありませんでした。リスク上昇には用量依存性があり、1日喫煙本数が10本増えるごとにリスクは16%上昇し、禁煙後10年以上が経過するとリスクは非喫煙者と同等になっていました。また日本人の糖尿病患者のうち、喫煙が原因で糖尿病になった者の割合は、現および過去喫煙者を合わせると、男性では18.8%、女性では5.4%、と推計されました。

2014年の米国公衆衛生総監報告50周年版でタバコ病と認定された糖尿病は、日本人においても例外でないことが分かり、そのリスクの程度も海外の複数の報告と一致しています(約40%増)。

喫煙は、糖尿病患者に喫煙による健康被害が加わることが問題、であるのみならず、糖尿病自体を喫煙が作りだす、ことにもさらに注意が払われる必要があります。

<その他の最近の報告>

KKE212a 「2015年日本では喫煙が死亡率の1位かつ男性のDALYsの2位のリスク因子である」

Nomura S等、Lancet. 2017 Jul 19. (Epub ahead) PMID: 28734670

KKE212b 「アレンカーの禁煙本による頭頸部癌患者の無作為化比較禁煙介入試験は否定的結果」

Foshee JP等、Ear Nose Throat J. 2017 Jul;96(7):258-262. PMID: 28719709

KKE212c 「幼児の毛髪ニコチン濃度は心血管リスクマーカー値と相関する」

Groner JA等、J Pediatr. 2017 Jul 12. (Epub ahead) PMID: 28711174

KKE212d 「バレニクリンは女性に、NRTは男性に、より有効な可能性」

Smith PH等、Drug Alcohol Depend. 2017 Jul 10;178:485-491. (Epub ahead) PMID: 28715776

KKE212e 「CT肺癌検診を受けると長期の禁煙が増え、要精査になるとさらに増える」

Brain K等、Thorax. 2017 Jul 14. (Epub ahead) PMID: 28710339

KKE212f 「リウマチ科医の禁煙介入は安定期ではさらに少ない」

Vreede AP等、J Clin Rheumatol. 2017 Aug;23(5):273-277. PMID: 28700529

KKE212g 「中国の禁煙アプリの内容調査」

Cheng F等、JMIR Mhealth Uhealth. 2017 Jul 11;5(7):e93. PMID: 28698170

KKE212h 「スペインの禁煙法施行後の喫煙率・受動喫煙の変化」

Lidon-Moyano C等、Addict Behav. 2017 Jun 28;75:30-35. (Epub ahead) PMID: 28683343

KKE212i 「PATH研究の問診表は種々のタバコ製品の依存評価に有効」

Strong DR等、Drug Alcohol Depend. 2017 Jun 28;178:257-266. (Epub ahead) PMID: 28675817

KKE212j 「大腸がん術前の禁煙プログラムの経済効果」

Gaskill CE等、J Surg Res. 2017 Jul;215:183-189. PMID: 28688645

KKE212k 「能動・受動喫煙はハイリスクHPV感染や子宮頸部上皮内腫瘍を増やす」

Feng RM等、J Gynecol Oncol. 2017 Mar 24. (Epub ahead) PMID: 28657217

KKE212l 「喫煙場所で禁煙をもちかけ電話フォローアップにつなぐ試み(香港)」

- Cheung YTD等、Nicotine Tob Res. 2017 Jun 24. (Epub ahead) PMID: 28655173
KKE212m 「喫煙結核患者は子への家庭内感染リスクが非喫煙より3倍高い (ガンビア) 」
- Adetifa IMO等、Am J Trop Med Hyg. 2017 Jun 12. (Epub ahead) PMID: 28722570
KKE212n 「全妊娠期間中の母体の喫煙は子の幼児期の喘鳴と関連する」 : 日本からの報告
- Tanaka K等、Tob Induc Dis. 2017 Jul 18;15:30. PMID: 28729819
KKE212o 「再喫煙したときの状況のアンケート集計 (スペイン) 」
- Pineiro B等、Addict Behav. 2017 Jul 14;75:152-158. (Epub ahead) PMID: 28735149